

## チロシンを特異的に検出可能な化学発光分析法

主たる提供特許

権利者	国立大学法人長崎大学
題名	チロシンの検出方法
番号	特願2020-104314

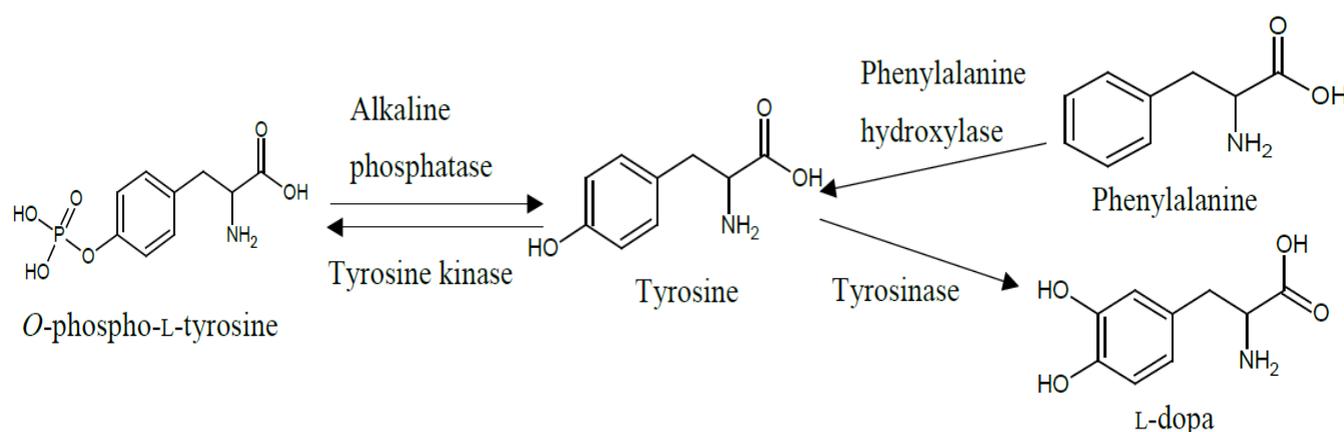
チロシンを特異的に検出することで、チロシン関連酵素の活性測定やチロシン関連酵素の活性阻害剤のスクリーニングが出来ます。

## 技術概要

## 発明概要

チロシンは、キナーゼをはじめとする様々な酵素の標的となるアミノ酸残基であり、チロシン代謝異常が種々の疾患に関与するとされます。従って、チロシンに特化した分析法は、疾患の発症機構の解明や早期診断法の開発に有用であると考えられます。しかしながら、現在用いられている分析法では様々な生体成分の中からチロシンのみを検出することは非常に困難でした。本法では、アミノ酸の中でもチロシンのみを特異的に化学発光で検出することが出来ます。また、チロシンの産生・代謝・修飾に関連する種々の酵素の活性測定を簡便・迅速に行うことが出来ます。

## チロシンに関連する酵素反応



## 効果

- ・上記のようなチロシンの産生・代謝・修飾に関わる様々な酵素の活性を網羅的に測定できます。
- ・チロシン関連酵素の活性阻害剤のスクリーニングに応用できます。

## 応用分野

## 実用化例

- ・アルカリホスファターゼの活性測定
- ・チロシナーゼ活性の測定法とチロシナーゼ阻害剤の探索
- ・チロシンキナーゼ活性の測定法とチロシンキナーゼ阻害剤の探索

## 企業へのメッセージ

共同研究先企業、技術移転先企業を探しています。